

(社) 日本建築学会 近畿支部
2012 年度第 2 回空気環境部会議事録 (案)

日時：2012 年 7 月 30 日 (月) 17:00~19:30

場所：キャンパスポート大阪 ルーム F

出席者：東 (実)、阿部、井上、甲谷、河野、古賀、小林、檜崎、萬羽、藤田、齋藤、
山中 (主査)、安福 (幹事)、桃井 (幹事、記録)

資料：・議事次第	資料 2-1
・前回部会報告書(桃井幹事)	資料 2-2
・ASHRAE STANDARD 62.1-2010 の調査報告資料	資料 2-3
・平成 23 年度設備設計一級建築士講習テキスト資料	資料 2-4

議事：

1. 新メンバー紹介

- ・新メンバー・齋藤義憲氏 (熊谷設計事務所) の紹介があった。

2. 前回部会の議事確認

- ・資料 2-2 に基づき、前回議事録の確認を行った。
- ・国内外の各種法令や換気・空気質に関する基準について、担当者の確認を行い、追加も含め、以下のとおりとなった。

【法律】

- 建築基準法
- ビル衛生管理法 (建築物における衛生的環境の確保に関する法律) (担当：甲谷)
- 労働安全衛生法 (担当：藤田)
- 大気汚染防止法 (担当：河野)
- 学校保健安全法 (担当：萬羽)
- 住宅の品質確保に関する法律 (担当：阿部)

【学会規準・ガイドライン等】

- SHASES 102-2011 (担当：山中)
- ASHRAE STANDARD 62-1-2010, 62-2-2010 (担当：檜崎)
- 厚生労働省空気質ガイドライン (担当：井上)
- AIJ STANDARD ホルムアルデヒド, 臭気 (担当：山中)
- AIJ STANDARD アセトアルデヒド (担当：東(実))
- AIJ STANDARD 微生物, VOC (担当：桃井)
- CEN (担当：安福)
- WHO (担当：東(賢))
- 北欧 (担当：小林)
- 国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修建築設備 設計基準 (担当：古賀)

【報告書等】

- 室内環境学会 (担当：東(賢))
- 住宅リフォーム推進協議会 (担当：東(賢))
- 建築設備一級建築士 (担当：橋本)

3. ASHRAE STANDARD 62.1-2010 の調査報告について

- ・資料 2-3 に基づいて、ASHRAE の換気基準に関する調査報告があった。
- ・空気質基準について、米国環境空気質基準 (NAAQS) によって一酸化炭素や微粒子等の

基準値が決められていることが分かった。

- ・換気システム及びシステムの換気効率の評価方法についての議論があった。
- ・日本での考え方とは異なり、汚染物を相加的に考え、面積と人によって決まる換気量の和で外気量が決定されている。

4. その他

- ・資料 2-3、2-4 について、次回、各自内容を読み解いて、議論することとなった。

次回部会 日時：10月1日（月）17:30~19:30
場所：キャンパスポート大阪 ルーム F
内容：各種換気基準の調査報告と検討

以上